

染井入落ウォーキングの記

16.11.1 大堀川の会 青木

晩秋の一日大堀川の会有志で、手賀沼へ流入している川のひとつである沼南の「染井入落」(そめいりおとし)を中心にのんびりウォーキングしてきました。

日時 : 11月1日(月)13時~17時、曇り

参加者: 河井、中野、横井、山口、青木の5名

コース: 我孫子市役所前スタート ハス群生地 将門神社 医王寺 香取神社 染井入落を上流に向かってウォーク 沼南町役場前からバスで柏へ

- ・雨は何とか持ちそうな曇り空でむしむしする中、ひま人5人でんでのいでたちで出発。
- ・沼南のハス群生地を経て台地へ入るが、先日この辺を歩いたばかりの河井さんもあまり当てにならず、土地の人に聞きながら道を辿る。
- ・将門神社は小さな社だが将門と聞くだけで引き締まる、しばし関東武士の昔をしのぶ。
- ・医王寺は門から本堂へが景観が見事でしっとりとした趣、銀杏の実が沢山落ちていた。
- ・この一帯は林に囲まれて畑と屋敷が点在する感じのいい里山、何時までも残してほしい。
- ・香取神社に参拝して台地を降りると田んぼの中に染井入落の流れが見つかり探訪開始。
- ・川沿いは雑草が茂る道だかなんだか定かでない所で、確かめつつ歩く。川は田んぼの中をほぼ直線的に流れ、まわりは森に囲まれた谷津田の風景。のんびり感がいっぱい。
- ・水路は一部はコンクリートだが大部分は自然水路で、頻りに田んぼの小川が横から流れ込んでくる、その一部は周りの森から来る水ではないかと想定される。また、葦やササ類の植物が川の中まで茂っていて、これは水質浄化に一役買っているのではなかろうか。
- ・土手とあぜ道の雑草は多様だが大堀川のように背の高いものはない、セイタカアワダチソウさえ背が低く(せいぜい50~60cm)小川にマッチしていて面白い。
- ・水は下流では雨の後のせいもあってかなり濁っていたが、遡るにつれて濁りは少なくなり水質は割合きれいな感じであった。
- ・ゴミは全体的に大堀川よりずっと少ないが、橋の近くでは散見された。水辺の道が整備されたりすると増えてしまうのではと心配になる。
- ・中流域を過ぎると川の北側の台地上で森を開いた土地開発が相当に進められているのが分かる。いずれ大津ヶ丘団地につながるような大住宅地になってしまうのだろうか。
- ・川は県道282号をくぐって大島田地区に入ると雑草が生い茂る地帯を流れるようになって近づけなくなり、迂回しながら川を見つけては辿った。途中葦が沢山茂る湿地帯状のところがあり、これも水源のひとつと思われた。沼南ゴルフの近くで川は二つに分かれ、片方は土管に入って西方へもう一方は小川のまま南に流れ、川幅は40cmくらいと狭くなるが水量はまだ少なくはない。

次頁の地図上

4

橋にて



- ・今回探訪できたのはここまで。後で詳細地図を見ると上流は国道16号を超えて流れており、その先の風早地区に調整池があるので、そこが主水源ではないかと推定される。
- ・柏へ戻って3丁目の「いこい」でいい気分になり散会。結構な一日でした。



1 将門神社



2 医王寺



3 染井入落ウオーク開始



7 今回辿った最上流の沼南ゴルフコース近く



6 鷲野谷付近



5 沼南高校を過ぎて

